

bauma CONEXPO INDIA 2016 ファイナルレポート

国際建設機械・建設資材製造機械・鉱業機械・建設車両専門見本市
2016年12月12日～15日
インド・HUDA Ground Gurgaon (デリー)

2016年12月15日

Bauma CONEXPO INDIA がインド経済の回復を明示

Summary

- 来場者は 31,000 人以上
- 出展社は 30 か国から 647 社



Facts & Data

会期	2016年12月12日(月)～15日(木) 10時～18時 (最終日のみ17時まで)
会場	インド・HUDA Ground Gurgaon(デリー)
主催	bC Expo India Private Ltd. Messe Muenchen - メッセ・ミュンヘン AEM - 米国機器製造業協会
共催	BAI - インド建設業協会
規模	150,000 m ²
出展社数	30ヶ国から647社(2014年:25ヶ国から635社)
来場者数	31,000人以上(2014年:26,018人)
主な出展製品	建設機械、建設車両、リフト、コンベヤー、建設機器・工具、特別システム、コンクリート・モルタル処理・製造、型枠、足場、建設現場施設、原料抽出・鉱業機械、原料処理、材料調整技術、建材用セメント・石灰・石膏製造、コンクリート・コンクリート製品・プレハブ構成材製造機械・システム、アスファルト製造機械・システム、予混合ドライモルタル・漆喰・スクリード製造機械・システム、石灰砂岩・発電所残渣使用建材機械・システム、石膏・石膏ボード・その他装置・付属品製造機械・システム、建材輸送、包装、駆動・流体技術、発電ユニット、付属品、予備・部品、サービス、検査、測定、制御、コントロールシステム技術、通信、ナビゲーション、作業安全 など
出展日本企業 (現法出展など含む)	(株)クボタ、コベルコクレーン(株)、(株)小松製作所、調和工業(株)、トヨタ工機(株)、日東工器(株)、日立工機(株)、古河ロックドリル(株)、三菱重工業(株) ほか

2016年12月12日から15日までインド、グルガーオン／デリーの HUDA Ground で BAUMA CONEXPO INDIA が開催された。2014年開催時よりも多くの商取引が行われ、質の高い顧客や来場者数の増大で、インドの建設機械市場における経済回復の兆しが明確になった。

15万平米の展示規模で行われた第4回国際建設機械・建設資材製造機械・鉱業機械・建設車両専門見本市に31,000人以上が来場した。出展企業は647社を数え、そのうちの57パーセント(30カ国)が国際企業であった。

メッセ・ミュンヘンと米国機器製造業協会(AEM)の合併会社である bC Expo India の CEO、イゴール・パルカ氏は満足して「BAUMA CONEXPO INDIA 2016 では、インド市場における前向きな動向が顕著に見受けられた。出展者は多くの取引先を獲得し、また中には展示会中に商談成立したケースも報告された。我々主催者は、このフィードバックが何よりも喜ばしいことだ。これは BAUMA CONEXPO INDIA が市場における重要なプラットフォームだと認識されていることを裏付けており、これを嬉しく思う」と述べている。

出展企業においてもよい兆候がみられた。JCB 社、代表取締役社長兼 CEO のヴィピン・ソディ氏は「BAUMA CONEXPO INDIA 2016 に出展できて光栄に思っている。展示会において土木・建設機器分野における最新情報を紹介することは我々にとって良い機会であり、顧客から好評を得ることができた」と話している。Larson & Toubro 社から同様の朗報があった。取締役副社長兼建設・鉱山機械事業部門トップのアーヴィンド・ケイ・ガグ氏は次のように述べた。「BAUMA CONEXPO INDIA



は我々にとって、コマツの新製品発表や取り扱い製品を紹介する絶好の機会であった。また、多くの顧客や他産業からの来場者との交流の重要なプラットフォームとなった」。Schwing Stetter 社、代表取締役社長のヴィ・ジー・シャクティ・クマーは、「BAUMA CONEXPO INDIA は、わが社に大きな成功をもたらした。高額紙幣廃止の状況にもかかわらず、我々の全顧客がブースに来訪し、様々な新しい装置を体験した」と付け加えている。

BAUMA CONEXPO INDIA は、直接商取引を行う場合に最適な展示会だ。Liugong 社、代表取締役社長のウ・ソング氏は、次のように述べている。「BAUMA CONEXPO INDIA の成功は、インドにおける建設市場の好転と展望を反映している。我々もブースにおいて幾つか商談が成立した」。Linnhoff 社のセールス・アンド・マーケティング社長兼マーケティング部長のアブヒジット・パドヒェ氏は、全く同意し「我々は BAUMA CONEXPO INDIA に参加できたことを嬉しく思い、満足している。2工場の商談を成立することができ、目的を達成した」と話している。

多くの出展者社にとって、BAUMA CONEXPO INDIA の開催時期は適切であった。Caterpillar 社の取締役であるアンディ・ダナライ氏は「BAUMA CONEXPO INDIA は我々にとって非常に重要だ。様々なことが起こっている今日、製品を紹介する最適なプラットフォームであり、完璧で質の高い展示会だ」と感想を述べた。Wirtgen 社の代表取締役社長兼 CEO のラメッシュ・パリギリ氏は、今年の「BAUMA CONEXPO INDIA 開催は、我々にとって最適な時期であった。投資が増える中、新製品を紹介する適切なタイミングであった」と話している。

多くの出展者にとって、BAUMA CONEXPO INDIA に参加することが不可欠となっているのは、景気回復によるものだけではない。GEDA Dechentreiter 社の CEO、ヨハン・セイラー氏は「需要と共に、企業は再び投資を開始している。インドの建設分野はいまだ困難な状況が若干あるが、BAUMA CONEXPO INDIA に出展することは非常に重要なことだった」と説明している。



次回の BAUMA CONEXPO INDIA は
2018 年 12 月にデリーで開催される予定
だ。

詳細情報と最新写真は、専用ホームページ(www.bcindia.com)で入手できる。

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)